

第2回学校運営協議会 会議録

令和8年10月8日（木） 12時30分～15時30分

(1) 給食試食会

(2) 授業参観

(3) 意見交換及び助言

① 開会のことば（教頭）

② 拡大すこやか委員会（いじめ対策委員会）

・R7年度から知的代替教育課程の児童生徒も対象として調査している。自分で答えられる可能な限りの児童生徒に答えてもらい調査した。重大事案はなかった。「からかわれたり、悪口を言われたりする」に「ある」と答えた生徒1名に対しては、担任が事実確認を行い、今後も継続して丁寧指導していく。

・いじめについて、県内の調査報告を見てみると、半数が「冷やかしからかい、悪口など」のことがあげられており、本校と同じような傾向が見られた。毎日の児童生徒の観察を大切にして、研修会の内容を踏まえて今後も丁寧に対応していく。

③ 意見交換及び助言

給食、授業参観について

・給食は、味付けもしっかりしていておいしかった。ペースト食など個々に合わせて丁寧にされていて食材の調理を食べやすくしていた。教師が子供一人ひとりに寄り添って対応していることがわかった。学校での摂食の様子等を事業所職員と共有していきたい。

・美味しい給食を子供たちは楽しみにしている。安全な環境を整えていただきありがたい。子供がアレルギーをもって、周囲から飛沫がないよう透明のパネルを設置してもらい、個々に応じて様々な対応をしっかりともらっている。

・試食を何回もさせていただいているが、いつも美味しい。4形態の食事を用意しているがただ硬いものを柔らかいものにするのではなく、最初からその形態に合わせた調理方法をして用意していると聞き驚いた。材料費が高騰する中で大変だと思うが、できるだけおいしい給食を提供してほしい。

・授業参観では、来校者が授業を見に来るだけで落ち着かなくなるような、環境の変化に敏感な子供たちに上手に対応している先生方の姿を見ることができた。

テーマ1：地域連携と防災について

「地域まるごと防災プロジェクト」：パワーポイントの視聴（話題提供の委員は欠席）

→9月第1土曜日～日曜日に行われた、社会福祉法人あそびじゅくと甲府西幼稚園の、もしも災害が起きた時、避難所では子供、老人、障害者などいろいろな人たちが集まりどのように過ごしていくのか、実際に体験してみようというプロジェクトの様子をパワーポイントで報告。普段接することのない全く知らなかった地域の人たちが、出会い、顔を知り、また出会い、一緒に何かすることで少しずつ変わってくる。そんなことを地域で考えていきたい。

「本校の避難訓練、引き渡し訓練の報告」：教頭より説明

→最近はずしも地震＝外に出るという考えではないことを確認し、1次避難、2次避難と行った。地震や火事の避難訓練は行っているが、水害は取り組んでいないので今後想定した訓練をしていく。また、本校は授業ごとに教室を移動しているので、安否確認が難しいところもあった。最終避

難場所として一番広く新しい建物の食堂に全員集まったが、狭いので今回は同じ建物の少し離れた場所と2か所に分けたが、情報が行き届かなかった状況が生じた。また訓練当日は雨天となり、車の動線が予想以上に混乱した。訓練後、防災物品やPTAで購入した発電機について確認した。今回の訓練を受けて、さらにマニュアルを見直し、安全確保、引き渡し方について改善を図っていきたい。トランシーバーやマイクを増やし、より教員間で連携が図れるようにしていく。今後、地域の中でつながりをもって、地域の防災会議に参加したり、地域にご協力をいただくことを整理したりしていきたい。

- ・7月に熊本地震、8月に千葉の豪雨と、様々な災害が続き、甲府も今年は2回避難所を開設している状況。いつ、何が起きてもおかしくないので、地域との連携が大切。池田地区では独自に池田地区防災対策協議会を立ち上げる。救命救急士や防災士といった国家資格を有する人が9名いて、自治会の行事や防災の啓発活動、防災訓練でアドバイスをもらえるようにする。市役所ともタイアップして訓練のチェック項目の検討、老人、障害者や女性への対応など地域全体を守るために運営していく。池田地区には、ホース設備がたくさんある。どのように使うのか、先生たちにも知ってほしいので一緒に訓練するなど活用してほしい。

- ・3年前、PTA会長として地域の方と一緒に防災訓練を実施してほしいと意見を出した。地域の人たちに障害者のことを知ってもらい、子供たちにも地域の人たちとも避難できる経験をしてほしい。指定福祉避難所の必要性もあるが人数が集まらないと開設してもらえない。また、R7年度全肢P大会では石川県の地震のこともあり、「個別避難計画」の作成が大事という話を聞いてきた。そのことを皆さんに伝えていきたい。

テーマ2：その他（教育課程、医療と福祉、進路について）

- ・進路について、就労選択支援という制度ができたが、1カ月のみの制度であり、校内実習中と後では、学校と事業所での子供の様子の変化について見られるので、そこを共有していけるとよい。日頃の学校の様子を見学させてもらえるとありがたい。

- ・医療的ケア支援センターでは、成年後利用できる場所が狭き門である状況。福祉面でもっと広げていく必要があると感じている。防災については研修を行っている。バッテリーを10台確保し、使い方を研修している。R9年度から貸し出しをする予定。実際に避難場所をどこにするのか等、個別の避難計画作成をすると、具体的に書いていくことが難しいのが現実。書き方のアドバイスをすることもできる。

④ 連絡

- ・甲養祭のお知らせをお渡しいたします。御都合がございましたら、御参加、御意見をお願いいたします。

- ・山梨県教育委員会主催の「地域と学校の連携・協働に係る研修会」が11月26日開催されます。参加希望の方は教頭まで御連絡をお願いいたします。

⑤ 閉会のことば（教頭）